

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	今できていることを奪わない、ということを常に意識した支援を行っている。集団で何かを行う場面は少なく、利用者様がしたいことをしたいように過ごせるよう見守っており、それぞれがそれぞれの時間の流れの中で過ごされている。訪問時も家事等代行するのではなく、自分でできるための支援にこだわってサービス内容を検討している。 その人のその時の状況に合わせて、送迎時間や訪問時間を調整し対応している。 独居の方の栄養状態改善のため、利用登録者に限り配食のサービスも提供しており、自宅での生活を総合的に支えられるよう努めている。独居の方では、体調不良の時に限り宿泊を利用し、不安なく療養できるようにしている方もある。
事業所名	あったかほーむ稲葉	管理者	小柳 友輔		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	1人	人	1人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者様一人一人のしたいことや思いを会議、ミーティング、カンファレンスを通し多職種で共有していく。	タブレットの申し送りの他に、連絡ノートを使用することで、細かい部分の共有ができるようになったが、利用開始時での内容把握ができていないことがあった。	- 職員同志の情報共有ができている。 - 通常業務の中、毎年、多くの項目について自己評価を行い、改善に繋げているので、これを基にサービス向上に取り組んでいただきたいと思います。 - 情報共有はできているようですが、課題としている内容把握については、引き続き取り組みをお願いします。 - 自己評価について、「できている」項目が多かったです。	ミーティングの際は、訪問手順書や、プランなどを用いて全職員に情報共有を確実にやっていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様の導線の確保や動きやすい空間とする為、物は増やさずに圧迫感のないホームにしていく。また、ホームも10年以上となる為、建物に不具合が出た際は早急に修理する。	物を増やさず今あるものを活かしながら圧迫感のない環境作りをしていくことができたが、フロア自体が狭く、利用者様が移動するのに狭さを感じる時がある。	- コロナやインフルエンザ等の感染対策をしっかりした上での環境を整えている。 - 運営推進会議で事業所を訪問しますが、外も静かで、事業所内も快適な温度や湿度になっていると思いますので、利用者も穏やかに過ごしていると思います。 - 空間に余裕があり、広さを感じる環境だと思います。引き続き	物を増やさず、圧迫感のない環境とすることで、利用者様同士がお話ししやすい環境作りをしていく。

			き、整理整頓等の取り組みをお願いします。 ・事業所内は綺麗で、物も片付けられていると思うので、引き続き、整理整頓をお願いします。	
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続きホームのある地区だけではなく他地区行事に回覧板等の情報を通して参加していき、積極的に関りを広げていく。	・地区で行われている催しものには積極的に参加できたが、ホームへ来所される方はいなかった。	・地区の行事やイベントに参加できている。 ・定期的な意見交換ができている。 ・区にとっても有意義なものとなっている。 ・区の催しにも積極的に参加していただいています。 ・日詰サロン、はつらつ体操、避難訓練など参加いただき、ありがとうございます。 ・日詰サロン、高田健康塾等に積極的に参加し、利用者様と地域との交流が図られていると思います。 ・今後とも、地域の行事等に積極的に参加して、地域との連携を深めていただければと思います。	・引き続き地区の行事には積極的に参加していき、介護相談ポスターをホーム玄関、駐車場、公民館、病院等に掲示し、ホームへ来所しやすい環境を作る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・訪問時など回覧板などを確認させていただき、他地区で行われているものを把握し、その中で民生委員との繋がりを構築していく。	自施設がある地区の民生委員との繋がりや関りは、地区の催し物の参加で築けているが、他の地区の民生委員との関りはできなかった。	・地区の区長さんや民生委員さん等との関り、顔つなぎができている。	・ホームのある地区や他地区の民生委員の方をご家族様や地域包括を通して、把握に努めていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・引き続きホームの報告を行っていきながら、地区の相談事や意見を言える時間を設定していく。	・運営推進会議で、ホームの運営についてや、地区の相談事などを言える場とはなっているが、相談事に対しての解決策などがあまり検討することができなかった。	・運営推進会議に参加して、毎回事業所の取り組み、活動が把握できた。 ・毎回わかりやすい資料を作成されています。 ・前月との変更的、改善点が伝わります。 ・毎回の運営推進会議で、施設の	・地域の課題や意見などを言える時間を増やし、その中で地区とホームが協働できるものを検討していく。

			利用状況や様子等をご報告いただきありがとうございます。 ・運営推進会議で地区区長さんや民生委員さんから、地区のイベント等に利用者の方が参加する際の意見が出されて、それについて話し合いがされているので、有意義な会議が開催されていると思います。 ・引き続き、運営推進会議で出された意見から、利用者の方が地域のイベント等に参加しやすくなるなど、多様な意見を話し合い、改善に繋げられるような場にしていただきたいと思います	
F. 事業所の 防災・災害対策	・年2回の地区の防災訓練に参加していき、地区とホームでの連携項目を明確にしていく。	・地区の防災訓練には全て参加することができ、運営推進会議を通し、情報共有もすることができた。	・災害時、訓練など地域との交流もできている。 ・区の防火、防災訓練に毎回参加していただいています。 ・今後も相互に工夫し、発災に備えたいと思います。 ・事業所での防災訓練の実施、地区の防災訓練の参加など、訓練をしっかりとっているので、危機管理意識が高いと思いました。 ・日詰区の防災訓練に参加されているので、来年度以降も継続して参加をお願いします。	・引き続き春と秋に開催している地区の防災訓練に参加し、防災に関しての情報共有、実践をしていく。

